

## 1. 点検結果概要

### ■対象施設(市内全域)

街路樹、公園、スポーツ・文化施設、市営住宅、区役所、保育園、老人憩の家等の市有施設

### ■調査対象本数(約52,900本)

街路樹約12,600本 公園約12,900本 市営住宅約5,000本 小中学校約14,000本 区役所・保育園・スポーツ施設等約8,400本

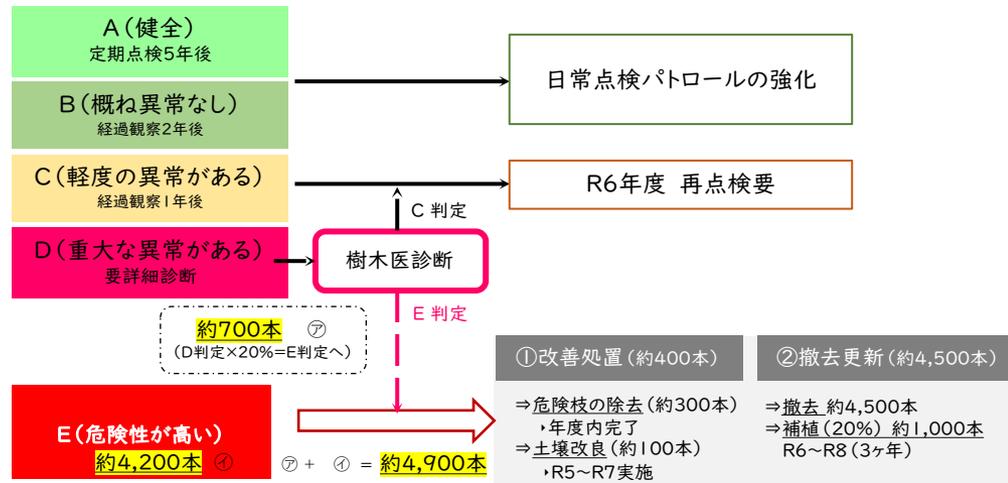
### ■調査結果

危険性の高い(E判定)樹木 約4,900本

→撤去:約4,500本 改善処置(枝枯れ撤去・土壌改良等)約400本

※年度内撤去完了

## 2. 点検フロー



### ①老木(寿命)

寿命による老木化(サクラ40~50年)



(全体的に衰弱している。)

### ②植栽基盤の不良 ※街路樹

根を張るスペースが確保できていない。



(地下埋設物工事等により根が切断。切断部から腐朽が進み、根の空洞が発生。)

### ③病虫害による被害

シロアリによる樹木被害が多い



(シロアリによる食害が進んでいる。(サクラ))

### ④維持管理による要因

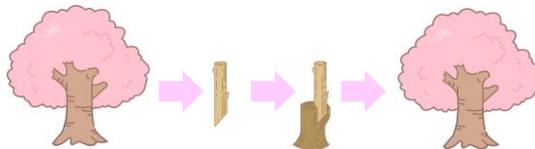
剪定の繰り返しのによる幹焼け、幹枯れ



(幹焼け)

### ①接木つなぐプロジェクト

- ✓撤去樹木より枝(接ぎ穂)を採取
- ✓台木と接ぎ穂の形成層を合わせ接ぐ
- ポットで育成管理 ※看板を設置
- 1年後(樹高1m程度)に植栽



### ②命つなぐプロジェクト

- ✓土壌改良による根の発育促進
- ✓樹木活力剤の散布
- ex.千原台高校チハラサクラ



(土壌改良剤)



(根のエアレーション)

## “緑にやさしい街づくり”に向けた検証と今後の取組み ~ (仮称)森の都再生プラン ~

- ①詳細な要因分析
- ②今後の森の都再生に向けた取組み (樹種、植栽基盤、維持管理など)



- ✓業務委託(データ分析)
- ✓現場調査(関係団体等)



意見聴取(有識者会議)  
「緑の基本計画検討委員会」



(仮称)森の都再生プラン のとりまとめ